

販売士
検定

消費者の信頼を集めるプロの販売員に！

リテールマーケティング(販売士)検定の活用術

リテールマーケティング(販売士)検定試験は流通・小売分野で唯一の公的資格です。資格登録者は全国で19万人！40年以上の実績を誇る専門資格です。現場で役立つ販売・接客の技術だけでなく、在庫管理からマーケティング、労務・経営管理に至る幅広い知識を身につけることを目的とした検定試験です。

リテールマーケティング(販売士)検定を 活用されている企業をご紹介します

株式会社 美十

代表者：代表取締役社長 酒井 宏彰
従業員数：社員240名、パートタイム454名(2017年4月1日現在)
資本金：5,000万円
創業：1938年
事業内容：和洋菓子製造販売

株式会社設立50周年である2015年に、<次の100年を目指すために、創業原点を大切に、いつまでも忘れることのないように>と願いを込めて、1969年以来の社名である「株式会社おたべ」から、創業原点である純喫茶の名にちなみ「株式会社美十」へと変更しました。

当社は、京都銘菓つぶあん入り生八つ橋“おたべ”や“京ばあむ”の製造販売にとどまらず、「おいしさをはこび よろこびを創る」を経営理念に掲げ、現在では、OEM商品の製造や新ブランド事業として洋菓子店舗運営(洋菓子ぎをんさかい他)など、幅広い事業展開を図っています。

検定活用方法 ～店長になるための資格要件に～

近年、商品やブランドを拡大するなかで、店舗数も増加し、改めて、各店舗を強化していきたいということで、2014年度に「店長制度」が創設されました。もともと、各店舗で店長という職位は設けていませんでしたが、職位を明確にすることで、販売員一人ひとりが店長やグループマネジャーを目指してキャリアアップできるようにもなりました。

この制度において、リテールマーケティング(販売士)検定2級と京都・観光文化検定3級取得を店長になるための要件としています。

当社には現在、自社の販売員を配置している店舗が京都府内で32店舗、全体で約196店舗あります。しかし、1人の店長が複数店舗の店長を兼任しているケースや店長を配置できていない店舗もあり、自社の販売員が直接お客様に美味しいお菓子とそれに関わる思い出の時間を提供できるよう、1店舗に1店長を配置できる体制にすることが当面の目標のひとつです。そして、ゆくゆくは販売員を指導するインストラクターを社内で育成し、販売員のさらなる販売力向上を目指しています。

2009年度～2017年度(7月)までの
販売士2級合格者数：26名



次回 第81回リテールマーケティング(販売士)検定試験のご案内

試験日 平成30年2月21日(水) 級 1・2・3級

申込期間 平成30年 1月5日(金)～1月19日(金)

【受験料】1級／7,710円 2級／5,660円 3級／4,120円

【試験開始時刻】1級／9:30～ 2級／13:00～ 3級／9:30～ ※年2回(7月、2月)に実施

【お問い合わせ】本所 会員部 リテールマーケティング(販売士)検定係

受付 9:00～17:00(土日祝を除く)

TEL 075-241-1377 FAX 075-222-2612

Mail school@kyo.or.jp URL <https://www.kyo.or.jp/kyoto/examination/hanbai.html>